

(東京医科歯科大学)「不妊治療(体外受精)を始める女性のこころの状態」

4) 丸山洋平(札幌市立大学)「人口再生産指標に人口移動の影響を反映させる試み」

5) 岩澤美帆(国立社会保障・人口問題研究所)・鈴木貴士(筑波大学・院)「人口・子育て環境の地域性と出生力」

6) 小西祥子(東京大学)「第1子の妊娠待ち時間と第2子出生のタイミング—妊孕力と出生力の関連についての予備的分析—」

(岩澤美帆 記)

カナダ・アルバータ大学高円宮日本研究教育センター ウェビナー

2020年11月24日(火) 日本時間10:30~11:40に、カナダ・アルバータ大学高円宮日本研究教育センター(PTJC)が在カルガリー日本国総領事館との共催で、シリーズ第二回目の「新型コロナと高齢者ケア」と題するウェビナーを開催し、筆者は「日本における新型コロナ感染症の高齢者に対するインパクト」と題する報告を行った。現地カナダの状況はアルバータ大学のジャスニート・パーマー准教授が報告し、日本とカナダの介護システムの違いと、それに応じた新型コロナ感染症の影響、またカナダの中での地域差等について議論された。内容はPTJC WebinarとしてYouTubeで閲覧可能である。

(林 玲子 記)

応用地域学会第34回研究発表大会(オンライン開催)

応用地域学会第34回研究発表大会が、2020年11月28日から29日にかけて開催された。今回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンラインでの開催となった。大会では、地域経済、住宅、公共交通などの一般セッションの他、若手研究者や大学院生が報告するEarly Birdセッションが設けられた。これらのセッションは合計で21を数え、48本の報告がエントリーされ、活発な議論が行われた。今回の大会では、セッションごとにZOOMのルームIDとパスワードが設定され、事前に登録された参加者や大会関係者が入室できる方法であった。当研究所からは、小島克久情報調査分析部長が参加し、以下のセッションで座長及び討論者を担当した。参集方式の学会ではセッション終了後の議論が一般的であるが、今回はZOOMのルーム利用時間の関係でこれが難しい面があった。一方で、報告論文を事前にダウンロードできたことなど便利な面もあった。

セッション 地域経済(座長:小島克久)

1. 田北俊昭(山形大学)・Lu Wang(Jiangsu Sheyang Rural Commercial Bank Co. Ltd.)・Yi-Chao Zhang(OGM Co. Ltd.) “Regional Revitalization: Patriot Effect and National Branding in A Smaller Country”

(討論者:片岡光彦(立教大学))

2. 八田達夫(公財)アジア成長研究所)・田村一軌(公財)アジア成長研究所)「大都市への人口移動の決定要因としての地方人口と地域間所得格差」

(討論者:小島克久)

(小島克久 記)